

関西空港線 線路トラブルの原因と対策について

2026年3月17日に、関西空港線 りんくうタウン駅～関西空港駅間発生させた線路トラブルについて、その原因と対策をお知らせします。ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1 受報日時

2026年3月17日（火） 4時43分頃

2 場 所

関西空港線 りんくうタウン駅～関西空港駅間

3 概 況

4時43分頃、関西空港指令所の指令員は、現地係員から当該区間での保守工事の作業が延びる旨の報告を受けました。このため、関西空港線では始発から、日根野駅～関西空港駅間で運転を見合わせていましたが、8時03分に運転を再開しました。

4 列車影響

<運 休> 計35本（上り20本 下り15本）

<遅 れ> 下り普通電車[日根野（5：34）発 関西空港（5：44）行]が

144分遅れたのを最大に、計33本（上り14本、下り19本）に遅れ

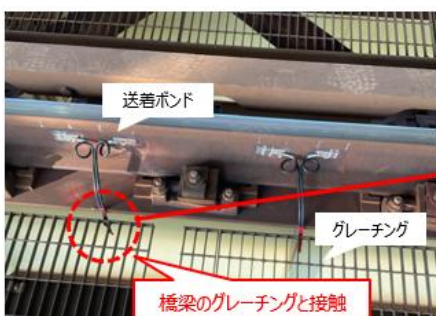
<影響人員> 約21,000人

5 原 因

今後の工事の事前準備をしていた部材の絶縁テープが損傷し、橋梁上の部材に接触したことで、レールに流れている電気回路が正常に構成されなかったためです。

6 対 策

- ・3月17日の夜間に、防護管により同種箇所での絶縁処置を実施しました。
- ・今後、作業マニュアルに本事例を記載するとともに、仮設する設備は防護管による防護方法に統一します。



【電気回路の短絡箇所】



【絶縁テープが損傷】



【防護管による絶縁処置】